

BUSINESS REPORT 2018

2017.9.1 > 2018.8.31



安心して暮らせる豊かな社会づくりに貢献する

1 トピックス 国土交通大臣表彰
「第1回 JAPAN コンストラクション国際賞」受賞

2 トピックス ベトナム国建設省副大臣表彰
「2018年度高品質工事賞」受賞

JESCOホールディングス株式会社

証券コード：1434



代表取締役会長 兼 CEO

杢本 俊洋

国内 EPC*事業の持続的成長を挺に アセアン EPC*事業の更なる拡大を目指す

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへのご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は2001年のベトナム進出以来、ベトナム人社員への日本語教育と技術教育により、設計・積算業務を強化するとともに電気設備等の施工管理も拡大してまいりました。

近年の民間建設需要の高まりから、高層 condominium の電気・空調・衛生設備工事等が急増し、アセアン EPC 事業の売上高は、前期比 30% 以上の高い伸びを達成いたしました。今後も高い成長が期待されます。

ベトナムを中心としたアセアン EPC 事業は、今後の当社の成長を牽引する事業であります。このような取り組みにより、2018 年 4 月 11 日、国土交通大臣表彰「第 1 回 JAPAN コンストラクション国際賞」、また同年 4 月 18 日、ベトナム国建設省副大臣表彰「2018 年度高品質工事賞」を受賞いたしました。

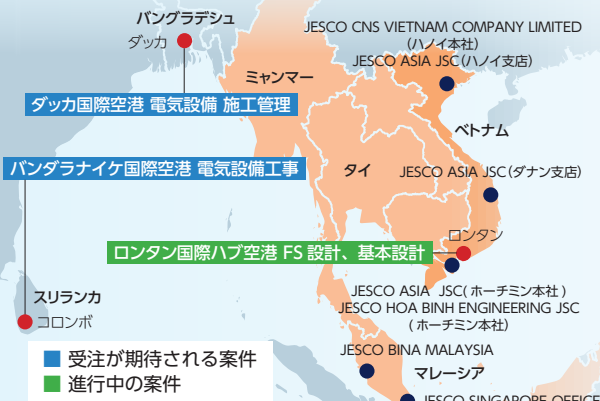
当社グループは、こうした国内外での受賞を糧に、「技術を通して、安心して暮らせる豊かな社会づくりに貢献する」という経営理念のもとに、経営目標の実現に向けて尽力してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

* EPC (設計・調達・建設)

中期経営計画

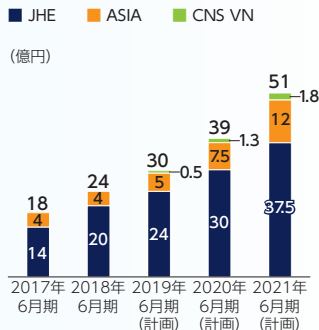
2018 年 10 月に公表いたしました 3 ヶ年中期経営計画では、2019 年 8 月期計画「連結売上高 100 億円」、「営業利益 4 億円」、最終年度の 2021 年 8 月期計画「連結売上高 140 億円」、「営業利益 7 億 3 千万円」といたしました。



海外戦略のあゆみ

- 1997年** マレーシアに合併会社、JESCO BINA MALAYSIA を設立 (現、業務提携)
- 2001年** ベトナムホーチミン市に JESCO SE VIETNAM を設立 (現、JESCO ASIA JSC)
- 2014年** ベトナムホーチミン市のゼネコン最大手ホアビン社の設備工事子会社を連結子会社化 (現、JESCO HOA BINH ENGINEERING JSC (JHE))
- 2017年** ベトナムダナン市に JESCO ASIA ダナン支店開設
- 2018年** JESCO CNS VIETNAM COMPANY LIMITED (CNS VN) 設立

アセアン EPC 事業連結売上高 (計画)





代表取締役社長 執行役員社長

唐澤 光子

技術力を更に強化し、付加価値のある事業領域の拡大へ

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループへのご理解を賜り、感謝申し上げます。さて、2018年8月期(第49期)の連結売上高は92億54百万円と過去最高を更新いたしました。国内EPC事業ではJESCO SUGAYA株式会社の連結業績への寄与に加え、好調なアセアンEPC事業の増収効果により、連結売上高は、前期比二桁の大幅増収となりました。営業利益につきましては、インフラ工事の工期延期、その他工事コストの上昇等の影響により、前期比二桁減益の1億62百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、保有不動産の売却により特別利益を17億75百万円計上したことで、10億99百万円となりました。

2019年8月期(第50期)の計画につきましては、引き続き好調なアセアンEPC事業が牽引し、堅調な国内EPC事業により連結売上高100億円を計画しております。また、営業利益につきましては、売上増効果等により4億円を計画しております。第50期の配当金は1円増配し11円を予定しております。また、第49期末及び第50期末の株主様を対象に抽選で5組10名様にJESCO視察とベトナム観光株主優待旅行の贈呈を予定しております。

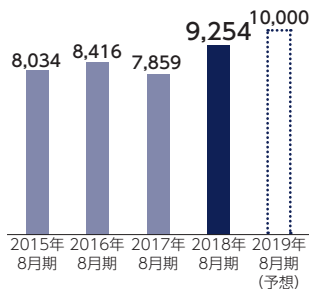
次に、第50期の取り組みにつきましては、創立100周年に向けて、技術力を更に強化し、付加価値のある事業領域への拡大を目指し、NECネットスアイ株式会社とのアセアン地域を中心とした協業の検討を進めるとともに、喫緊の課題である人材確保と技術者育成を目的とした国内外での技術教育研修制度の拡充を進めてまいります。

引き続き、株主の皆様のご支援とご理解の程お願い申し上げます。

連結財務ハイライト

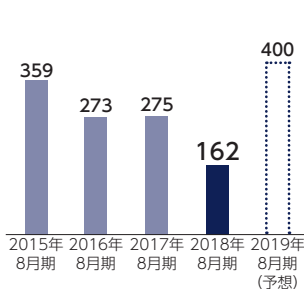
売上高

(百万円)



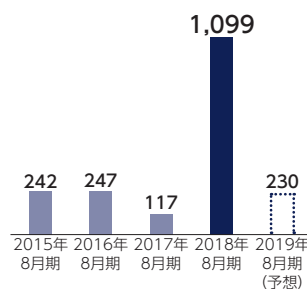
営業利益

(百万円)

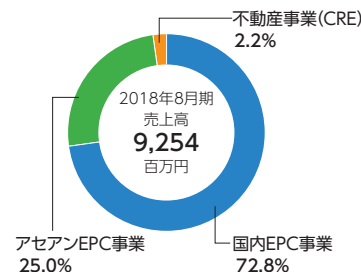


親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



売上高構成比



アセアンEPC事業とM&Aが牽引し、連結売上高92億54百万円と過去最高を更新

*EPC(設計・調達・建設)

国内EPC事業

売上高 **6,741**百万円(13.8%増)

売上高につきましては、主力の電気設備、通信無線設備関連工事ともに堅調に推移しました。また JESCO SUGAYA 株式会社(旧菅谷電気工事株式会社)を連結対象に加えた効果もあり、売上高は二桁増の67億41百万円(前期比 13.8%増)となりました。一方、営業利益につきましては、労務費及び償却費等が増えた影響により、二桁減益の1億5百万円(同 38.4%減)となりました。

アセアンEPC事業

売上高 **2,310**百万円(33.7%増)

民間建設需要の高まりから、高層コンドミニアムの受注が引続き好調だったことにより、JHEの売上高は、前期比44%増の19億43百万円になりました。一方、JESCO ASIAでは、ODA案件が前年に続き延期となった影響があるものの、日本からの設計・積算委託業務が安定したことにより、前年実績同様の4億34百万円の売上高を維持しました。その結果、アセアンEPC事業の連結売上高は23億10百万円(前期比33.7%増)の増収となりました。営業利益は、増収効果により1億24百万円(同257.9%増)となりました。

不動産事業

売上高 **202**百万円(2.6%減)

不動産事業は引き続き安定的な収益確保に貢献しています。自社不動産は適宜ポートフォリオの入れ替えを行っておりますが、3月29日、都内に新規不動産を10億99百万円で購入いたしました。また、6月25日、都内の保有不動産を売却したことにより賃貸収入は微減となり、売上高は、2億2百万円(前期比 2.6%減)、営業利益は、1億58百万円(同 10.3%増)となりました。なお、不動産売却により17億75百万円の特利利益を計上しました。

TOPICS 1

NEC ネットエスアイ株式会社 との協業の検討を開始

2018年8月7日、当社は、NEC ネットエスアイ株式会社とアセアン地域でのEPC事業について協業の検討を開始いたしました。インフラ建設のみならず、工業団地や高層住宅などの民間建設需要の伸びが期待され高い経済成長が続いているベトナム市場を中心としたアセアン地域でのEPC事業の協業、並びに国内市場における協業の可能性の検討を進めております。



TOPICS 2

創立50周年事業に係わる 記念株主優待に関するお知らせ

株主の皆様への感謝の意を表するとともに、当社の海外事業への理解を深めていただくことにより、当社株式の魅力を高め中長期的に保有いただけることを目的として創立50周年記念株主優待旅行を実施いたします。詳細につきましては、弊社ホームページをご覧ください。



TOPICS 3

JESCO SUGAYA 株式会社 (旧菅谷電気工事株式会社)

JESCO SUGAYA 株式会社は、2018年7月17日、利根統光ケーブル設備維持工事の完工に対し、国土交通省関東地方整備局より、難工事功労表彰を受賞いたしました。また、2018年9月1日、本社を前橋市から渋川市に移転するとともに社名を菅谷電気工事株式会社から JESCO SUGAYA 株式会社に変更いたしました。引き続き、北関東 No.1 を目指してまいります。



国土交通大臣表彰

「第1回 JAPAN コンストラクション国際賞」受賞

JESCOグループは、2001年にベトナム国ホーチミン市に会社を設立し、主に、設計・積算及びODA案件を手掛けるJESCO ASIA JSCと、民間工事を中心に行うJESCO HOA BINH ENGINEERING JSC (JHE) を両輪に国際空港や高速道路、高層集合住宅などの電気設備、電気通信設備、空調・衛生設備などの設計、施工管理で高い技術を駆使し、確実に事業領域を拡大してきました。今回の表彰は、JESCOグループが設計・積算事業からスタートし、収益性の高い事業に展開していくスキームを構築したことや独自の日本語教育、技術指導を通しベトナム人の育成、技術移転に貢献したこと、さらにはグループがこれまで蓄積してきた質の高い技術を提供していることなどが評価されたものです。



石井啓一 国土交通大臣と松本会長 記念撮影



ダイヤモンド ロータス レイクビュー



南北高速道路 ITS



ノイバイ国際空港



「第1回 JAPAN コンストラクション国際賞」

2 ベトナム国建設省副大臣表彰 「2018年度高品質工事賞」受賞

当社の連結子会社であるJESCO HOA BINH ENGINEERING JSCは2018年4月18日、TIEN PHAT(ティエン ファット)住宅団地(アセントコンドミニウムズ)のM&E工事施工に対して、LE QUANG HUNG(レー・クワン・フン)建設省副大臣より「2018年度高品質工事賞」を受賞いたしました。



アセントコンドミニウムズ



「2018年度高品質工事賞」

会社概要

商号	JESCOホールディングス株式会社
設立	1970年8月
所在地	東京都新宿区北新宿2丁目21-1 新宿フロントタワー23階
資本金	9億46百万円
従業員数	671名(連結)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第二部)

役員 (2018年11月27日現在)

代表取締役会長兼CEO	松本俊洋
代表取締役社長 執行役員社長	唐澤光子
取締役 執行役員専務	川島清一
取締役 執行役員専務	中牟田一
取締役 執行役員	大塚和彦
社外取締役	グエン ニャット リン
社外取締役	村口和孝
常勤監査役	畑中達之助
監査役	鈴木正明
監査役	佐藤精一

● 株式事務のご案内

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで	お問い合わせ先	取扱場所
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヵ月以内		東京都中央区八重洲一丁目2番1号
剰余金の配当の基準日	毎年8月31日、毎年2月末日		みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
1単元の株式数	100株		取次所
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	公告掲載方法	みずほ信託銀行株式会社全国各支店 みずほ証券株式会社本店及び全国各支店及び営業所
			各種事務手続きに関する電話お問い合わせ先 ☎ 0120-288-324
			当社の公告方法は、電子公告としております。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法としております。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 https://www.jesco.co.jp/ja/ir.html

● 見通しに関する注意事項
本冊子には、業績見通し等の将来に関する記述が含まれておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

株式の状況

発行可能株式総数	17,464,000株	
発行済株式総数	6,447,900株	
株主数	3,598名	
大株主(上位10名)		
株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
松本俊洋	832,000	12.90
京セラコミュニケーションシステム株式会社	400,000	6.20
日本コムシス株式会社	400,000	6.20
ヤマト電機株式会社	300,000	4.65
JESCO従業員持株会	228,701	3.55
株式会社新川	200,000	3.10
唐澤光子	145,300	2.25
西武信用金庫	130,000	2.02
金田孟洋	128,000	1.99
山田悟	77,000	1.19

